

海洋理工学会 平成17年度秋季大会プログラム

プログラム

10月13日(木)

学会賞記念講演

- 10:00~10:40 堀田記念奨励賞受賞講演 来田幹生((株)マリン・ワーク・ジャパン)
海水中の全炭素濃度の測定：船上測定の信頼性向上の試み
- 10:40~11:20 論文賞受賞講演 堀口文男((独)産業技術総合研究所)
東京湾における TBT のアサリに対するリスク評価
- 11:20~12:00 業績賞受賞講演 原 政直((株)ビジョンテック)
衛星リモートセンシングの実利用システムの構築
- 昼休み

シンポジウム「漁業と環境問題—持続的利用は可能か、日本の役割は？」

- 13:30~13:40 趣旨説明 コンビナー 荒井修亮 副会長(京都大学大学院)
- 13:40~14:20 「責任ある漁業」と我が国の役割 中前 明(水産庁)
- 14:20~15:00 環境問題と水産研究の現状 魚住雄二((独)水産総合研究センター)
- [休憩]
- 15:20~16:00 漁具の改良—混獲は回避できるか? 東海 正(東京海洋大学)
- 16:00~16:40 マグロ漁における責任ある漁業の実践 原田雄一郎(責任あるまぐろ漁業推進機構)
- 16:40~17:20 瀬戸内海漁業の現状と今後の方向—瀬戸内海では今— 國府恒郎(瀬戸内海漁業調整事務所)
- 17:20~18:00 総合討論
- 18:00~20:00 イブニングミーティング

10月14日(金)

一般講演

- 10:00~12:00 Session 1 観測機器** 座長 月岡 哲(JAMSTEC)
- A1. 水中用多足歩行ロボットの開発—陸上動作試験報告— ○田原淳一郎(JAMSTEC)
- A2. マリンロボット「MR-X1」の研究開発
○百留忠洋, 青木太郎, 山本郁夫, 月岡哲, 吉田弘, 田原淳一郎, 澤隆雄,
石橋正二郎, 渡邊佳孝, 水野正志(JAMSTEC), 石川暁久(NME),
那須野陽平, 須藤明日香, 佐々木亮(東京海洋大)
- A3. 浅海用小型 ROV/AUV とその通信・観測装置
○吉田弘, 百留忠洋, 石橋正二郎, 青木太郎(JAMSTEC), 石川暁久(NME),
藤本勝樹, 沼本修, 上村宇之, 阪幸宏(広和)
- A4. 「うらしま」の海域試験
○石川暁久(NME), 山本郁夫, 月岡哲, 百留忠洋, 吉田弘,
澤隆雄, 石橋正二郎, 田原淳一郎, 水野正志(JAMSTEC)
- A5. 係留設置された浮体式海洋構造物の係留鎖の耐久性について
○宮崎剛, 大澤弘敬(JAMSTEC)
- A6. AUV「r2D4」搭載 Lアレイ・インターフェロメトリ・ソナーによる海底地形計測
○小山寿史, 浅田昭, 浦環, 坂巻隆(東大学生研), 小原敬司, 永橋賢司(三井造船)
- A7. 潮汐引力検出による位置計測方式の概念設計 ○高川真一(JAMSTEC)

13:30~14:40 Session 3 海洋観測

座長 植田真司(環境科技研)

- P1. 海洋地球観測船「みらい」データの船上処理について
○今井康貴, 奥村智, 末吉惣一郎, 徳長航, 長浜則夫, 奥村慎也,
前野克尚, 吉田一穂, 大山亮, 志村明敏(GODI)
- P2. 受動的音響観測によるジュゴンの生態情報の取得 1—ジュゴンの摂餌行動モニタリング—
○堤千華, 市川光太郎(京大院), 赤松友成(水工研), 荒井修亮(京大院), 新家富雄(SIT),
原武史(日本水産資源保護協会), Kanjana Adulyanukosol(タイ国海洋沿岸資源局)
- P3. HPLCによる植物プランクトン色素標準 13 種類の同時定量法の開発
○築地由貴, 植田真司, 近藤邦男(環境科技研), 千賀康弘(東海大)
- P4. 清水港における植物プランクトンの推定とその展望
○釘宮秀友, 中田喜三郎, 千賀康弘, Rajani Kanta Mishra, 石崎充,
正木宏和, 大野創介, 山本祐也(東海大)
- P5. 清水港定期観測の結果について
○大野創介, 山本祐也, 釘宮秀友, 石崎充, Rajani Kanta Mishra,
中田喜三郎, 千賀康弘(東海大)
- P6. Spatio-temporal measurement of picoplankton in HPLC method using reversed phase C₈ column
OR. K. Mishra, Y. Senga and K. Nakata(Tokai University)

14:50~15:50 Session 4 リモートセンシング

座長 千賀康弘(東海大)

- P7. 福井工大 MODIS 高次処理システムと赤潮検出について
○青山隆司(福井工大), 八木浩(VTI)
- P8. 人工衛星 SeaWiFS によるクロロフィル a の解析—Longhurst et al. (1995)の海域わけを用いて—
○井上りえこ, 秋山正寿, 陳超, 千賀康弘(東海大)
- P9. 短波海洋レーダ・沿岸潮位記録・衛星高度計などを用いた宗谷暖流のモニタリング
○江淵直人, 深町康, 大島慶一郎, 白澤邦男, 石川正雄, 高塚徹, 若土正暁(北大低温研)

15:50~16:50 Session 5 生態系モデル

座長 中田喜三郎(東海大)

- P10. 宍道湖・中海における植物プランクトン優占種の季節変動に関する数値解析
○正木宏和, 中田喜三郎(東海大)
- P11. 有明海水質シミュレーションモデルの構築
○畑恭子(国土環境), 滝川清(熊本大)
- P12. 汽水湖における生態系を考慮した放射性核種移行モデルの開発と検証—青森県汽水湖尾駁沼について—
○植田真司, 近藤邦男, 秋葉次郎(環境科技研), 沓掛洋志(国土環境), 中田喜三郎(東海大)